

## 真のヒーロー

高橋 昌基

第96回全国高等学校野球選手権大会（通称甲子園大会）での我が富山県代表の「富山商業高校」が、2回戦を突破し、3回戦へコマを進めました。その中で大半の人気がヒーローは、「森田投手」と言つていました。実際、11奪三振で完投と、素晴らしいピッチングでしつかりゲームをつくりました。テレビやネットでも、「魅せた森田」や「庄堀三振ショウ」として注目されました。

「レナード」と、ハデにとりあげられていました。

北日本新聞でも、ガツシリ森田投手の記事が載つていました。その中、捕手の富川征哉選手に関する記事があり、僕はそれを読んで富川選手こそが真のヒーローだと思いました。

この記事は、投手の女房役である捕手がしるかり仕事をしたからこそ、勝利になげたことができた、捕手の富川選手の活躍があつたからこそ、森田投手が生きて、勝利を手にすらることができたといふものでした。僕は、



もし、富川選手の好リードがなければ、この試合も、前回の試合も勝てなかつたと言つても過言ではないと感じました。僕の好みはマニアが、フスマムダソクレに、いい助役がいはいと主役も生きないだろ。オレたちで湘北へチームしを強くしよラゼーという台詞があります。たしかに主役の投手に比べ、あまり目立たない捕手は助役がもしりません。でも素晴らしい助役がいたからこそ、手にした勝利です。富川選手こそが、眞のヒロイなんだと僕は思いました。そして僕は、改めて人間は誰かに支えられよい生生物なんだを感じました。日常生活においても、両親のおかげで学校へ行くことができる、ご飯を食べることができる、友達のおかげで、互いに成長しあうことができる、など、誰かの方おかげで今の自分があり、未来の自分があると分かりました。このことに対しても、感謝の意を持っています。次は、



自分が誰かを支えていけるようになりたいです。

この富山商業ナイの記事は、すごく大切  
なことを教えてくれました。きっと全国制覇  
してくつろこ信じてます。僕も学んだにと  
張りたいです。



# 富川 攻守に存在感

富山大会で打率1割3分6厘と不振だった捕手の富川が打撃で貢献した。1点リードで迎えた七回1死一、二塁。

「相手投手は制球が良い。アーストストライクから狙つた」。初球の直球をたたいた。

遊撃への内野安打。走者の好機に凡退し、4打数無安打。

走塁もあり、貴重な追加点となりた。

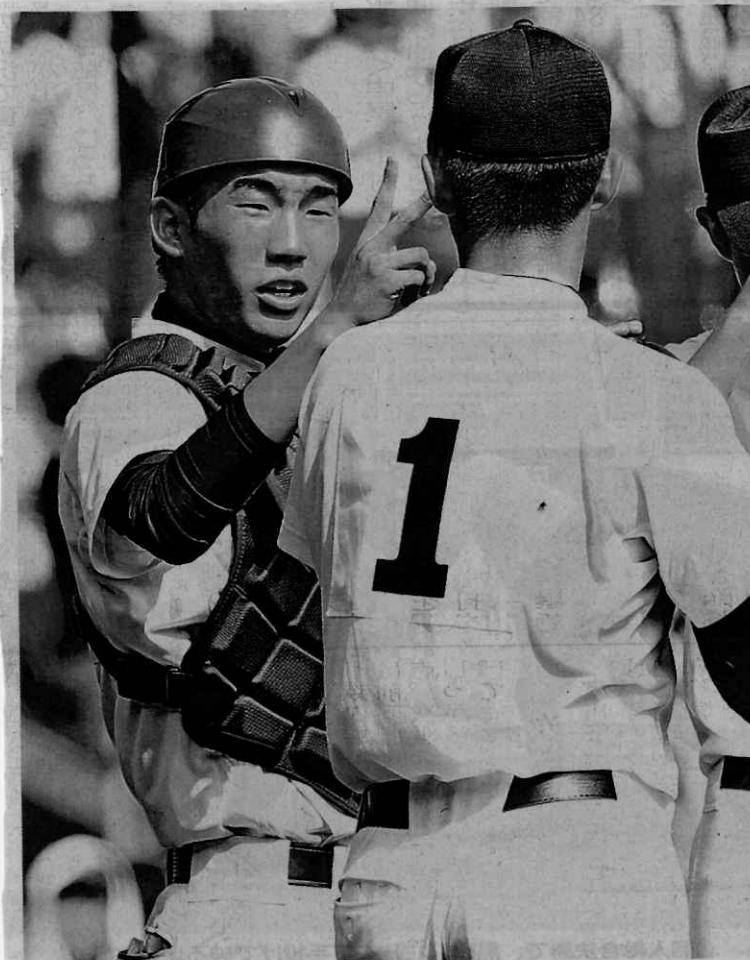
6番に座りながら1回戦も

不調を振り払う快打に「久しぶりに適時打が打ててうれしい」とほにかんだ。

前崎秀和監督は「みんなが打たないときに打つ、意外性のある打者」と評する。この日も二回以降、無得点が続いた後に巡ってきた七回の好機に仕事をやってのけた。

守っても森田の女房役として好リードを見せた。スライダーと直球を内外角にちりばめ、強打を誇る関西の打者を封じた。「きょうのような投球なら、どんな強豪とも良い勝負ができる」と自信を深めた様子だった。

(社会部・小幡雄也)



9回裏のピンチに、マウンドの森田に声を掛けた富山商の捕手・富川(左)